

里親登録前研修は、3日間の座学を受けた後、児童養護施設か乳児院で2日間の施設実習をします。四恩学園乳児院では、コロナ感染予防の為、クラスに入って子どもと関わる時間が制限され、短くなってしまいました。その時間を補うため、子どもの好きな絵本紹介などを行っています。

### こどもたちに人気の絵本

擬音大好き！



繰り返し大好き！



ストーリーを楽しんで！



赤ちゃんにとって絵本はコミュニケーションの始まりです。  
喜怒哀楽を感じることで、心の変化を知ることが感情が豊かになります。

### ライフストーリーワークにおすすめ



養子縁組で親子になっていく経過で真実告知は必要なステップであると言われています。生い立ちを整理する取り組みをライフストーリーワークと言い、最近は年齢や理解力に合わせて各施設も取り組みを始めています。小さいお子さんにも読み聞かせできる絵本を紹介いたします。ご家庭や年齢に合った絵本を選んでみてください。タイミングに悩むときは関係機関や4Sにご相談ください。

特別養子縁組の実習の様子 ☆A君と里父母さん☆初めて会ったとき、里父母さんが拍子抜けするほど一緒に遊ぶA君。やっとA君と出会えたことが嬉しくて目に涙を浮かべる里父母さん。人見知りすることなく里母さんにべったり。ですが、しばらくして試し行動を出すようになり、ご飯の時に座らない、声掛けとは反対の行動をする、そんな日が続き里母さんは「お話を聞いてくれないし、嫌われているのでしょうか？」と不安な思いを職員に打ち明けました。A君は何をして遊んだか、里父母さんが大好きとよく言っていることを伝え、里父母さんは諦めずに関係づくりを頑張られました。少しずつ自信がついた里母さんはA君が何をしても「お母さんが好きなことは知っているんだから！」と笑顔で対応するように。実習後半にはA君が里父母さんを泣いて後追いする様子がありました。実習を終えるころには、里父母の手をぎゅっと握り、笑顔で帰りました。お家では、A君にとって初めての経験の連続で「これは？」「なんで？」と質問の嵐。「ずっと聞いてくるので大変です」と言いながらも、お家に子どもがいなかったらできない経験と割り切り、飽きるまで付き合ったと話す里母さん。電話をかけると「お家に遊びに来てもいいよ！」と自分の家を自慢するA君でした。

#### ○編集後記○

家庭訪問に行けず、里親さんに電話で様子をお聞きすることも増えました。この期間中もこどもたちは成長しています。嬉しいこともしんどいこともたくさん聞かせてください。 (半田・原田・宮原・松木)

#### お問い合わせ先

一般社団法人 大阪市児童福祉施設連盟  
里親支援委員会 (事務局：聖家族の家  
06-6699-7221 担当：萱津・松本)